

年度評価シート

課名 子ども未来課

施設の名称 清水中央子育て支援センター	指定管理者名 (福)静岡市社会福祉協議会
1 履行状況	
年間を通して協定書（仕様書）及び事業計画書に従って、適切に履行されている。	
(1) 維持管理業務	
施設内の衛生管理・清掃業務や設備の日常点検等、仕様書に沿って適切な施設管理、良好な環境整備が行われている。	
(2) 施設利用者数	
【一時・月保育室】	
年間開設日数 359 日	
(一時保育)	利用者数 2,300 人（前年度 1,892 人） 利用時間数 14,483 時間（前年度 11,808 時間）
(月保育)	利用者数 2,177 人（前年度 2,484 人） 利用時間数 17,614 時間（前年度 21,115 時間）
一時保育と月保育を合わせた保育受入れ人数は、4,477 人（前年度 4,376 人）であった。新型コロナウイルス感染症流行前と比較すると全体の利用者数は減少しているが、令和2年度より若干増加している。また、利用者の低年齢化が顕著に表れており、保育施設整備の充実や幼児教育・保育の無償化の推進も影響していると考えられる。	
【子育て交流サロン】	
年間開館日数 296 日	
年間利用者数は 8,206 人（前年度 9,167 人）、相談件数は 2,157 件（前年度 1,440 件）であった。	
緊急事態宣言やまん延防止等重点措置の発令により、講座や行事の変更や延期もあり、利用者の減少が見られた。一方で、相談件数については、保健福祉センターの健診等の事業が中止や延期になったこともあり、発育や発達に関する相談が多く、相談件数が増えた。感染防止対策を徹底し、利用者の安全を配慮した運営がなされており、コロナ禍における利用者の不安に寄り添った相談支援を行い、清水区の子育て支援の中核施設として、継続し安定した運営を行っているといえる。	
(3) 事業実施状況	
子育てに関する交流事業、相談事業、情報の収集や提供などについて、事業計画に沿って適切に行われている。子育て支援に関する講座等は 100 回以上（毎日、毎週開催しているものは含まない）行われる等、多くの講座やイベントが定着し、魅力ある事業展開がされている。	

主な事業は以下のとおり

赤ちゃんサロン、リトミック、育児相談、親カフェ、青空サロン、制作等
子育て支援センター担当者研修会開催、静岡市子育て支援センター連絡会開催等

(4) 職員配置状況、職員研修等

仕様書に基づき、最も利用者が多くなる時間帯において最低限下記の職員を配置している。

- | | | |
|-----------|----|---------------------------|
| ①所長 | 1人 | 指導員及び保育士等の管理者として、職責を果たせる者 |
| ②子育て交流サロン | | 相当な知識及び経験のある指導員2人 |
| ③月保育・一時保育 | | 相当な知識及び経験のある保育士2人 保育士6人 |

- ・交流サロン・・・常勤・パートを含めて3名程度配置。現状安全で安定した運営を行っている。
- ・一時保育室・・・固定の預かりではないため日々個別対応が必要となり、配置の調整が難しいが急なシフト変更等にも対応し円滑に運営がなされている。

2 市民（利用者）からの意見・要望の内容とその対応状況の評価（クレーム対応 等）

特にクレーム等もなく、日ごろから利用者の声を積極的に取り入れていく運営方法は評価できる点であり、今後も継続されることを期待したい。

3 市民（利用者）へのアンケートや満足度調査の状況評価

【一時保育】

利用者満足度調査における調査項目のうち「非常に満足・満足」と答えた人は、①利用しやすさ、②受付時の対応、③お迎え時の対応、④子どもの様子の全ての項目において100.0%という結果であり、多くの利用者に対し満足の高い質の高いサービスを提供していることがわかる。利用理由については、特に「仕事」(30.6%)が大きな割合を占めており、「通院」(19.4%)「リフレッシュ」(18.1%)が続いている。

【月保育】

利用者満足度調査における調査項目においては、①利用のしやすさ②受付時の対応③お迎え時の対応④子どもの様子のすべての項目において「非常に満足・満足」と答えた人が100%という結果であり、多くの利用者に対し満足度の高いサービスを提供していることがわかる。

利用理由については、特に「仕事」(40%)が大きな割合を占めており、「リフレッシュ」(16.7%)が続いている。

利用者の施設利用理由は様々であり、多様化するニーズに対応できる受入施設として必要性が高いことが分かる。

【子育て交流サロン】

調査項目のうち、①あそびの環境②職員の対応100%、①施設の設備99%、④講座・イベントの内容において97.8%が、「非常に満足」「やや満足」という結果であり、多くの利用者に対し満足の高いサービスを提供していることがわかる。

利用者の自由記述においても、「子どもが楽しく過ごしているので安心して預けられる」「職員が親切で相談にも親身になってくれるので心強い」等好意的な意見が多く、利用しやすい施設運営ができていることが分かる。

4 指定管理者の経理状況の評価

指定管理業務の収支状況については概ね適切な経理状況である。
今後とも効率的な経営に留意した上で、より充実した事業実施のための予算執行を望みたい。

5 総合的な評価（課題事項・指摘事項及びそれらの改善状況 など）

前年度事務事故発生の有無	無
前年度モニタリング調査における改善協議事項の有無	無

全体的に良好な子育て支援及び保育サービスの提供が行われている。

新型コロナウイルス感染症の影響により、利用者数が減少したことで目標値（年間利用者数：一時保育 7,000 人・子育て交流サロン 12,800 人）に届かなかったが、感染対策を徹底して施設運営をしており、利用者への丁寧な支援が行われ、業務は適正に実施できている。

業務においては、コロナ対策として利用時間や人数の制限、施設内の消毒等を実施し、安心・安全な施設運営に努めた。以前は大人数を集めて行っていた行事等は中止にするのではなく、少人数や個人ごとで取り組む方法に変更することで丁寧な対応にも繋がっており、状況に応じて事業の実施方法を変化していく等、指定管理者の創意工夫が見られた。

また、相談件数が大幅に増えていることから、コロナ禍で人との交流が減り環境が変化する中で子育てをする親子への丁寧な支援が行われていると言える。

清水中央子育て支援センターは清水区の子育て支援において中核となる施設であることから、今後においても、ニーズを確実にとらえ、さらなる地域との連携事業の展開を期待するとともに、安心安全な保育環境の提供を継続していくことを期待する。

※事務事故が発生したとき及びモニタリングにおいて改善の指導があったときは、必ず改善状況を記載すること。